

● IUCN (国際自然保護連合) とは

IUCNは、私たち人間が生きていくうえで必要な自然、とくに生き物の豊かさを守り、自然資源がいつまでも絶えることのないよう、みんなが公平に、上手に利用していけるような社会をめざして、1948年から活動している団体です。

自然を守ることは、国だけの仕事ではなく、市民や科学者など大勢の人の協力が必要です。そのためIUCNは、国・自然保護団体・科学者がそれぞれの力を出し合って、世界的な自然保護を進めています。

ウェブサイト <http://www.iucn.org/> (英語)

● IUCN-J (国際自然保護連合日本委員会) とは

IUCN-Jは、IUCNの会員になっている日本の団体が集まって、自然保護に関する情報を交換しあい、IUCNの活動に協力するために、1980年につくられました。

2020年、世界が日本に注目する年。

いのち
世界にみせる豊かな生命とつながる暮らし。



お問い合わせ 国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F (財)日本自然保護協会内
Tel.03-3553-4109 Fax.03-3553-0139 <http://www.iucn.jp> E-mail: mail@iucn.jp

IUCNの活動の普及・広報にご協力ください。

[寄付口座] 郵便振替口座: 00190-0-278919 口座名義: 国際自然保護連合日本委員会



◎この冊子は、経団連自然保護基金の助成を受けて作成されています。

◎この冊子は中越パルプ工業の印刷用紙「里山物語」を使用しています。間伐材を100%クレジットで最大限活用し、森林保全に貢献するとともに、用紙代の一部は寄付金として、里山で活動する社会的意義の高い団体を支援することで、里山の生物多様性保全と社会貢献にも役立ちます。

本誌デザイン 有限会社アンティグア グッドフェローズ 発行: 2014年9月

いのち 今から始める 生命のアクション

地球に生きる生命の条約 ～生物多様性条約～

行動編



いのち
194の国で達成をめざす、「地球と生命の20の約束」
あなたにも今日からできることがあります。

生物多様性条約は1992年につくられた国際条約で

「地球に生きる生命の条約 / Convention for life on Earth」とも呼ばれています。

生物多様性条約は、地球に生きる生命の多様さ、それを支える環境の多様さを守り
そこから得られる恵みを構成に分け合い、未来に受け継いでいくための世界の約束事です。



あなたが守る、生物多様性

まも せいぶつたようせい



いま、暮らしを支える自然の恵みと、それをもたらす生物多様性が急速に失われつつあります。これらの損失を止めるためには、あなたの行動が必要です。あなたの暮らしの中でできる行動もあれば、企業、自治体、NPO・NGO、農林漁業など、様々な立場から取り組んでいく行動もあります。この冊子では、行動のためのヒントを順にご紹介します。

国連生物多様性の10年(2011-2020)と日本委員会(UNDB-J)

2011年から2020年までは、国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。世界目標である「愛知ターゲット」の達成に向け、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の問題に取り組む10年間で。国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)は、この国際的な取り組みを国内で促進するための組織です。

おりがみをきっかけに考えよう!

おりがみを折る時間を「いのちのつながり」に想いを馳せる時間に



想いでつなごう! おりがみアクション Let's Origami! Action

おりがみを折って、身近な「いのちのつながり」を考え、私たちの日常から考える「出逢いたい未来」をメッセージとして発信し、世界の愛知ターゲットとのつながりを見出すプロジェクトです。

STEP
1

おりがみを折ろう

どんな紙を使ってもどんなものを折るのも自由です。

STEP
2

メッセージを書こう

2020年の自分、地球へのメッセージを書いてみましょう。身近なこと、世界のことなど自由に想像力を膨らませ、あなたが出逢いたい未来へ想いを託してみましょう。

STEP
3

想いを届けよう

おりがみとメッセージに託した「想い」を届けてみましょう!
〈方法〉パソコンまたは携帯サイトから写真を投稿すると、「みんなのおりがみ写真コーナー」に掲載されます。

STEP
4

「想い」でつなごう

おりがみを通じて世界の人とのつながりを感じて、みんなの想いを愛知ターゲットの達成に結びつけていきましょう。

STEP
5

「想い」を育てよう

生物多様性について学んでみましょう。IUCN-Jの加盟団体や協力団体では生物多様性に関連したセミナーやワークショップを開催しています。詳しくは、パートナー団体一覧等をご覧ください。

おりがみワークショップ

全国のパートナー団体・個人パートナーの協力により年間20回程度開催しています。ウェブサイトのイベント最新情報をご覧ください。ワークショップを運営するパートナーは随時募集しています。



タイムカプセルプロジェクトin東山

国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J) ロゴおりがみ



このロゴはヒトといきものの共生をする世界をめざして、日本にいるいきものがおりがみでデザインされています。UNDB-J推薦をうけた折り図はウェブサイトから自由にダウンロードできます。

<http://www.cop10-origami.com/service/undb-jlogo/>



参加しよう!

世界中で老若男女問わず人気のあるおりがみを楽しみながら、いのち、文化の多様性に触れることができるプログラムです。家族やクラスのお友達などおりがみを折って、素敵なメッセージとともに写真を投稿してください。スタッフブログでの紹介、その他関連する国際会議でも発表される可能性があります。



もっと詳しく! 想いでつなごう! おりがみアクション

URL <http://www.cop10-origami.com>

おりがみアクション



事務局

国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)

TEL 03-3553-4109

e-mail origami@iucn.jp

身近なことからはじめてみよう!

あなたの暮らしの中でできること



生物多様性を守るために、私たちにできる5つのアクション!

MY行動宣言 5つのアクション

暮らしの中で、生きものとつながりを感じ、身近なところから行動することが、生物多様性を守るための第一歩です。そのために、具体的な5つの行動リストからできることを選んで「MY行動宣言」として宣言して行動してもらう取り組みです。

Act
1

たべよう



地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。

Act
2

ふれよう



生の自然を体験し、動物園・植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。

Act
3

つたえよう



自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

Act
4

まもろう



生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。

Act
5

えらぼう



エコマークなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。

もっと詳しく! MY行動宣言5つのアクション 特設サイト

URL <http://undb.jp/action/spread-action/>

行動 宣言



つないでみよう! あなたの活動と生物多様性 生物多様性アクション大賞

5つのアクションに貢献する活動を全国から募集し、表彰するものです。「たべよう」「ふれよう」「つたえよう」「まもろう」「えらぼう」の5部門で「優秀賞」を選定し、さらに「優秀賞」受賞者によるプレゼンテーションを経て「大賞」を選定しています。

生物多様性アクション大賞2013

アイキッズ ～エコアイディアキッズびわ湖～
第1回の2013年は、日本各地から122点の応募があり、「アイキッズ～エコアイディアキッズびわ湖～」による「滋賀・琵琶湖の伝統食作り」が大賞に選ばれました。



参加しよう!

あなたの活動を「生物多様性」とつないで、応募してみてください。
ほかの誰かのアクションのきっかけにもつながるはずです。



もっと詳しく! 生物多様性アクション大賞 いきものぐらし

URL <http://5actions.jp/award/>

アクション大賞



事務局

UNDB-J/Iki・Tomo推進事務局 一般社団法人CEPAジャパン

TEL 03-5256-6770 e-mail info@cepajapan.org

生物多様性アクション大賞事務局

TEL 03-5459-2108 e-mail award@cepajapan.org

みんなで伝えよう！ つなごう！

愛知ターゲット達成のためにチームとなることができること



にじゅうまる
プロジェクト

にじゅうまるプロジェクト

生物多様性の保全のための世界共通の20の目標「愛知ターゲット」の達成に貢献している活動のためのプロジェクトです。全国の活動を結びつけ、ひとつのチームとして推進するとともに、市民の視点から国内外への発信を行っています。

Point
1

かかわりの強い 愛知ターゲットの紹介

企業、研究・教育機関、市民団体、メディア、自治体などの活動と20の目標とのつながりを解説しています。

Point
2

愛知ターゲットの 達成への貢献を証明

20の目標とつながる活動についての宣言を募集し、応募された活動の貢献を確認後、認定証を発行しています。

Point
3

宣言された 活動事例の広報

宣言された活動をウェブサイト、フェイスブック、企画展示、国際会議など様々な場で紹介しています。

Point
4

活動団体間の 交流の機会の提供

全国大会（にじゅうまるCOP）など、同じ目標に取り組む活動団体と交流できるイベントを実施しています。

Point
5

世界の最新動向の発信

国際会議への参加や国内外の関係者との連携により最新情報をウェブサイトやツイッターで解説しています。

愛知ターゲットガイド

日本初の愛知ターゲットの解説冊子。生物多様性条約事務局の公式ガイドに基づき、愛知ターゲットの内容や構成、関連情報を解説したものです。（にじゅうまるプロジェクト事務局作成）



参加しよう！

参加方法 — 「にじゅうまる宣言」のしかた

団体などの活動について、どの目標の達成に貢献しているかを宣言するのが「にじゅうまる宣言」です。活動名、内容、対象地域・期間、団体情報などを宣言フォームに記入し、ご送付ください。事務局で内容確認の後、宣言が完了します。

「にじゅうまるプロジェクト」ウェブサイト > 宣言する
（宣言フォームと関連書類のダウンロードもできます）



にじゅうまる先生



関連サイト



にじゅうまる宣言をされた活動は、国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）が推奨する連携事業として認定される場合もあります。

認定連携事業 国連生物多様性の10年日本委員会

URL <http://undb.jp/authorization/>

認定連携



もっと詳しく！ にじゅうまるプロジェクト

URL <http://bd20.jp/>

bd20



事務局

国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)

TEL 03-3553-4109

e-mail origami@iucn.jp

田んぼに生きもののにぎわいを!

生きもののいっぱいの田んぼをめざしてできること



田んぼ10年プロジェクト

(正式名称：田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)

生きものあふれる豊かな田んぼを作りましょう。
私たち一人一人が出来ることを自ら宣言、行動することによって
愛知ターゲットの実現を目指します。

Point
1

水田目標と 行動計画の設定

生物多様性の向上には、農家、消費者、事業者、自治体などあらゆる立場の人が関わる事が大切です。愛知ターゲットを実現するために「田んぼ」でできることとして、18項目の「水田目標」を設定しました。2014年6月現在、71の団体・個人が参加しています。

Point
2

参加者による 地域での活動

参加登録した行動目標を達成するために、ふゆみずたんぼ、なつみずたんぼ、田んぼの生き物調査等、各地で多様な取り組みが実施されています。メーリングリストや「田んぼ10年だより」を通じて、各地の活動の情報交換も行われています。

Point
3

田んぼ10年プロジェクト 事務局の活動

地域の現場での交流会を大切に、農家や自治体、研究者、NPOなど多様な人々が参加する交流会/ワークショップを開催していきます。また、専門的な情報を伝え、田んぼの生きものの減少を防ぎ、取り戻すための活動のお手伝いをします。

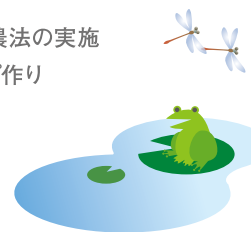
田んぼ10年プロジェクト 行動計画2013

愛知ターゲット/水田目標を達成するための具体的な行動等をわかりやすく例示しています。ウェブサイトからもダウンロードできます。
2020年に向かって、参加/行動しましょう!



こんな活動が行われています

- ・田んぼの生きもの調査
- ・田植え体験
- ・農薬に頼らない農法の実施
- ・魚道やビオトープ作り
- ・里山の手入れ
- 他 いろいろ



参加しよう!

行動計画(上記に紹介)にご賛同いただける個人・団体を対象に参加登録を行っています。行動目標、行動内容、団体情報などを参加登録フォームに記入し、ご送付下さい。また、オンライン登録もできます。参加登録すると、連携しているにじゅうまるプロジェクトにも登録されます。



もっと詳しく! 田んぼ10年プロジェクト

URL <http://www.ramnet-j.org/tambo10>

田んぼ10年



事務局

NPO法人ラムサール・ネットワーク日本(ラムネットJ)

TEL 03-3834-6566 e-mail info@ramnet-j.org

事業活動から取り組もう!

民間事業者の取り組みとその支援からできること



生物多様性民間参画パートナーシップ

民間事業者による生物多様性保全への参画促進を目的に、2010年10月の生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)で、事業者/経済団体/NGO/公的機関の計424会員(現在507会員)で発足した組織です。

Point
1

多様で自主的な 取り組みの尊重

参加要件は、「生物多様性民間参画パートナーシップ行動指針」の趣旨に賛同し、自主的に活動することです。

Point
2

取り組み実態の把握

毎年参加団体に対しアンケートを実施し、ウェブサイト上で結果を公開しています。

下記ウェブサイト>参考資料>その他



Point
3

専門家による支援と 会員の経験交流

年1回、有識者による講演やシンポジウム、会員による事例発表などによる会員会合を開催しています。

Point
4

活動内容の情報発信

参加団体の取り組み内容について、ウェブサイトなどにて紹介しています。

Point
5

国際的な情報共有や 経験交流

海外の同様な組織や関係政府機関と定期的な会合を開き、情報と活動の共有を行っています。

「生物多様性民間参画 パートナーシップ」行動指針

民間事業者の取り組みとして自然循環と事業活動の調和を志す、グローバルな視点を持ち行動する、自発的かつ着実に行動する、資源循環型経営を推進する、など7つの指針からなります。

第3回会員会合の様子



関連情報

Let's Study Biodiversity (LSB)

電気・電子4団体生物多様性WGによって作成されたMicrosoft® PowerPoint®形式の教育・啓発用ツールです。
<https://www.jema-net.or.jp/Japanese/env/lbs.html>

ガイドブック～事業活動と生物多様性～ 名古屋商工会議所によって作成されたガイドブックで、チェックシート等を使った解説があります。
http://www.meisho-ecoclub.jp/?page_id=49

参加しよう!

◎参加団体は本パートナーシップに参画していることを各団体自身の広報活動において用いることで、取り組みのPRができます。

◎自団体の活動を生物多様性の観点から見直し・改善するため、行動指針(上記に紹介)に賛同し、1項目以上の実施意思を持つ団体は参加が可能です。参加希望者は事務局まで連絡の上、参加同意書の提出/受理により登録となります。
(注:経団連会員企業は、経団連生物多様性宣言推進パートナーズへの加入により自動的にパートナーシップに参加となります。)



もっと詳しく!

生物多様性民間参画パートナーシップ

URL <http://www.bd-partner.org>

民間参画



事務局

生物多様性民間参画パートナーシップ事務局(経団連自然保護協議会内)

TEL 03-6741-0981 e-mail kncf@keidanren.or.jp

自治体から取り組もう！

自治体の取り組みとその支援からできること



生物多様性 自治体ネットワーク

自治体が「国連生物多様性の10年日本委員会」の構成員として他のセクターとの連携・協働を図りながら愛知ターゲットの実現に資することを目的に、生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取り組みや成果について相互に情報発信を行う組織です。

Point
1

参加自治体間の 情報共有の場の提供

ウェブサイト上にコミュニティサイトを設置し、参加自治体間の情報発信や情報共有に役立てています。また、年に一度、定期総会を実施しています。

Point
2

統一行動の実施

構成自治体の統一行動として、5月22日「国際生物多様性の日」に、統一したロゴマークやポスターによる発信や、各自治体の関連イベントのウェブサイトでのPRなどを行っています。

Point
3

多様なセクターとの 連携・協働

国、民間団体、事業者等のセクターとの連携・協働を図っています。

Point
4

国連生物多様性の10年 日本委員会への参画

自治体のネットワーク組織として国連生物多様性の10年日本委員会に参画し、意見・要望の発信を行っています。

交流事業の実施

構成自治体の様々な知恵や工夫、取り組みを〈共有〉、〈交流〉、〈発信〉し、自治体の課題解決や取組のレベルアップを図るため、テーブルセミナーやミニフォーラムを実施しています。

生物多様性キャラクター応援団共同宣言式



共催行事などの開催

地域の取り組みの推進につながる取り組みとして、国連生物多様性の10年日本委員会の生物多様性地域セミナーや地域連携促進セミナー、全国ミーティングを、生物多様性自治体ネットワークの構成自治体において開催することができます。

参加しよう！

本ネットワークの目的に賛同する自治体は参加が可能です。
規約の別添様式に記入し、事務局までご送付ください。
(2014年4月24日現在の構成員：全国の道府県、政令市、市町村など136自治体)



事務局

兵庫県豊岡市役所 コウノトリ共生部コウノトリ共生課

TEL 0796-21-9017 e-mail kounotori@city.toyooka.lg.jp

(第3期(2013年11月～)。任期1年の幹事団体が事務局となります。最新情報はウェブサイト「お問い合わせ」<http://undb.jp/nlgb/contact.html>からご確認いただけます。)

もっと詳しく！ 生物多様性自治体ネットワーク

URL <http://undb.jp/nlgb/>

自治体ネットワーク

